



消防大学校だより



土屋総務副大臣の消防大学校消防団長科第68期入校式への出席及び消防大学校、消防研究センターの視察

土屋総務副大臣が、昨年12月7日、東京都調布市に所在する消防大学校に来校され、消防団長科第68期の入校式へ出席するとともに、消防大学校、消防研究センターを視察しました。

副大臣は、まず、消防大学校警防科第98期（60名）の総合企画訓練の見学に際し、「2か月間にわたる研修の集大成である総合企画訓練を拝見できることを大変楽しみにしている。この消防大学校で得た知識・技術をこれまで以上に皆さんの活動で発揮していただき、国民の安心・安全確保のために貢献されますことを大いに期待している。」との激励の言葉を述べました。

また、消防研究センターでは、平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害などでも活躍し、津波・大規模風水害対策車両として研究が進められている水陸両用バギー車の操作訓練を見学し、研究開発の実情などを意見交換しました。

その後、当日に入校式を迎える消防大学校消防団長科第68期（26名）の入校式へ出席し、学生への訓示とし

て、「日本各地で様々な災害が発生しており、今後も、南海トラフ地震等の大規模災害の発生が危惧されているが、災害に対し、やはり現場に真っ先に駆けつけ、きめ細かな対応をしていただけるのは、地元の消防団の皆様である。総務省としても、『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律』に基づき、女性や若者等幅広い層の消防団への入団促進や地域防災リーダーの育成など、地域防災力の充実強化のため、様々な施策に全力を挙げて取り組んでいる。卒業後にはこの消防大学校で得たものを更に地元において存分に発揮し、地域の中核となって、住民の安心・安全確保のために向けて大きく貢献されますことを期待している。」と訓辞を述べました。副大臣から激励、訓示を頂いた入校生のみなさんは、それぞれの課程を終え、全員無事卒業を迎えました。



消防団長科副大臣訓示



水陸両用バギー車の操作訓練



消防団長科入校生との記念写真

予防科 (第98期)

消防大学校では、専科教育において、予防業務の教育指導的立場にある職員を対象とした研修課程として、予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に「予防科」を設置しています。

本年度の予防科第98期では、学生48名が事前教育として約1ヶ月間のeラーニング（インターネットによる個別学習）の受講を経て、平成27年8月24日から10月15日までの53日間にわたる消防大学校での集合教育を終え、全員が無事卒業しました。

集合教育では、教室での座学（講義）において、最新の予防行政の動向に関する講義のほか、消防行政に係る裁判事例、各消防本部の違反処理事例の紹介・解説、予防業務の教育指導者等として必要な知識の修得に努めました。

また、実技では、違反処理実習と題して、本校の施設を利用した具体的な違反処理の手法（命令書の交付から公示までの流れ）を演習形式で実施することにより、違反処理に関する知識・技術の向上を図りました。



課題研究発表

さらに、校外研修では、日本消防検定協会、清水建設株式会社技術研究所、能美防災株式会社メヌマ工場等の視察を行い、消防用設備に関する各種の実験や試験、最新の建築物への設置状況等を視覚的に確認することにより、消防用設備の理解を深めました。

研修を終えた学生からは、「消防大学校でしか聴講することができない一流の講師陣による講義はとても有意義であった。」「予防業務に関する授業だけではなく、消防幹部として必要な知識や技術を身に付けることができた。」「学生同士の意見交換により、他の消防本部が実施している違反処理の手法や経験談を聞くことができ、とても有意義であった。」など、教育訓練全般及び学生相互の交流を含めて、総合的に有益であったと評価する意見が多く寄せられました。

今後は、消防大学校で修得した知識・技術や課題研究での取組をそれぞれの所属で日々の業務に大いに活かして、予防業務の教育指導者等として活躍することが期待されます。



校外研修（日本消防検定協会）

問合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712